工業つ子

No. 124
—発行日—
2015. 12. 24
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

ものづくり全国大会で活躍！

十一月十四、十五日に開催された第十五回高校生ものづくりコンテスト全国大会。自動車整備部門にP2佐藤勇心君が二位に入賞、また十二月四～七日に行われた技能五輪全国大会では、木型部門にI3松添美海さんが出場、銅賞を受賞しました。

全国二位！ 今回のミスを次に活かす

自動車整備部門

高校生ものづくりコンテスト自動車整備部門で全国二位に輝いたP2佐藤勇心君。開催地の鹿児島で食べた黒豚のカツが美味しかったとのこと。

▶めざせ二連覇！

▲忍耐力・精神力・体力との勝負

佐藤君によると、会場には全国からの強者が集まっていたことで、ピリピリとしており、その雰囲気に呑まれてしまい最初に大きなミスをしてしまったそうです。そのせいで、嬉しい気持ちよりも悔しい気持ちが大きかったとか。そのような佐藤君の来年の目標は若年者ものづくり大会で優勝して二連覇を達成することです。佐藤君は「一所懸命練習すれば何でも出来るようになる」を心に臨んでいると語ってくれました。顧問の岡本先生に伺うと、「ただ一言『お疲れさまでした』。この言葉だけで、すべてが伝わるとでもいうようなコメントを頂きました。先生と佐藤さんの信頼の厚さが伺えます。来年の佐藤さんの活躍に期待です。

一年間で鍛えたチカラを発揮

技能五輪全国大会木型部門

技能五輪に出場したのはI3松添美海さん。結果は銅賞で、自身が目標としていた「メダルを獲る」ことを達成しました。

出来を伺うと「今までで一番良かった」とのことで、「一年間のきついの練習に耐えて精神的に成長できて良かった」と話してくれました。

また、顧問の北川先生にお話を伺うと「技能五輪の難しさは忍耐力・精神力・体力が必要なところ。本番で一番の出来となって良かった」と話してくださいました。

まもなく卒業を迎える松添さん。卒業後もますます活躍してください。銅賞本当におめでとうございます。

情報化社会に向けて

九月三日に可決されたマイナンバー制度。我が家にもマイナンバーのお知らせがきました。実際にマイナンバーの通知が届いても、あまり実感がない一方で、テレビなどを見ていると不安の気持ちが頭から離れません。親にも意見を聞いてみると「自分達の個人情報が漏洩する危険性が高くなるからもっとセキュリティをしっかりしてから決めて欲しかった」との答えが返ってきました。

ニュースなどで時折報道されるように日本は毎日のようにサイバー攻撃を外国から受けています。サイバー攻撃は様々な分野に大きな影響を与えます。その一つが情報漏洩です。これは国だけでなく身近なところでも起こっています。例えばSNS。ツイッターやフェイスブックは設定によっては全世界の人に見られます。自分の写真などを安易に張ることは、自分の身にも危険が及ぶ危険性があります。また、ネットバンキングなどのサービスを装って身分証明ができるなどの理由で簡単に個人情報が聞き出され、気がつくと情報が漏洩していたという事例も聞きます。ビットコインもそうですが、ネット上では簡単な証明で利用出来るという理由で自分の個人情報を当たり前のように聞き出してきます。そのように個人の情報は色々なことに悪用する事が出来ます。その幅広さは私達が考えているよりも広いです。

情報化社会の急速的な発展により、情報が昔より一段と重要になった世界。マイナンバーが私達の存在にかかわる情報とつながなっていることを考えると恐ろしくなってきます。

私達にはますます情報を見極め、相手を見極める力が必要となってきています。まずは簡単に情報を聞き出してきたりに教えないように気をつけることが大事です。

（塚根）

自らを打ち倒して！

溶接競技九州大会

宮崎県で二日間行われた溶接九州大会。本校からは四人が出場しました。

結果はP2田中裕大君が四位、M2野崎徹君が十位でした。

大会に出場した部長でもある田中君にインタビューすると「今回の九州大会はとてもレベルが高かった。同率二位が二人いて、一点差で負け、四位になったことがとても悔しい。でも、自分はまだ二年生なので来年の大会では一位を目指して頑張ります」と前向きに話してくれました。また、後輩に向けては「自分を倒すつもりでこい！」とコメント。今回はとても惜しい結果でしたが、来年の九州大会に向け頑張ってください。

悔しさを糧に次へ

マイコンカーラリー九州大会

十一月八日に沖縄県立浦添工業高等学校で行われたジャパンマイコンカーラリー九州地区大会。長工からはM2高縄祐樹君、J2本田蓮君、D2西本虎太郎君の三名が出場しました。

結果は、残念ながら三名とも予選敗退。大会について出場者に話を聞くと、高縄君は「思っていた以上に走ってくれなかった。来年はもっと速く走るマイコンカーをつくりたい」、本田君は「大会までの苦労のことを思うと、この結果はとても悔しい。次はプログラムを見直して臨みたい」と話してくれました。

最後に機械工作部は女子部員が少ないそうです。溶接を見学に行ってみてはいかがでしょうか。

「目標・目的をもって」

―瀬戸一輝さんインタビュー

技能五輪世界大会電気工事部門で銅メダルとなった本校卒業生の瀬戸一輝さん。工業展二日目に講話をされ、質疑応答でも様々な質問が飛び交いました。終了後、瀬戸さんに突撃取材をしました。

Q受賞した感想を。

―嬉しかった。でも悔しかった。

Qこれからの目標は。

―東京オリンピックでの工事をやり遂げること。

Q仕事以外ではまっていることはありますか。

―スポーツ。冬はスノーボードをやったりします。

▲ 瀬戸さんと記念撮影

Q長工に帰ってきて何を感じましたか。

―活気です。

Q一言、お願いします。

―目標・目的を持って、やりがいを求めてたくさんのことに挑戦してください。

Q後輩のE2の劇は。

―すごく面白くて、めちゃくちゃはっちゃけているなと思った。取材後、E科の生徒に囲まれ記念撮影に応じていた瀬戸さん。その明るい笑顔に私達の家庭の電気は支えられているのだと感じました。

大会直前に三台のうち二台が不調に陥るというトラブルも発生したとのこと。そのこともそれぞれ残念そうに話していました。

課題と目標を新たに、来年の大会で良い成績が残せることに期待です。

今日の一枚 ～ひっそりと～

▼ 冬の風をその身に受けて

明日に向け力たくわえ冬木立ち

季節も冬へと変わり、気温も父のギャグもどんどん寒くなっています。もう幾つ寝るとお正月……おせちやお年玉が楽しみです。

さて、今回の一枚はイチョウの木です。もうすっかり冬というのに数を減らしながらも、なお粘り強く黄色い葉を残している長工の敷地内にあるイチョウの木々。その姿、儚くも力強く、「タフネスイチョウ」です。私達もこの冬に負けないような体作りをしていきたいです。

（溝上）

青春日記♪

じんぐるべーる、じんぐるべーる、鈴が鳴る～（へい）♪。町は聖夜のお祭りムード。バスの車内はチキンの臭いで一杯。おかげで私はぐうの音が鳴りやまない。チキンよ、もう少し臭いを控えてくれないか。そんな願い虚しくおいか、鳴り続ける今日のこの頃。

クリスマスというと、プレゼント。朝起きて枕元をくまなく探していた幼き頃。いくら探しても見つからず半べそで親のもとへ向かうと「サンタさんから預かってたよ」と絶望から一変、おおはしゃぎでプレゼントを開けた時代が私にもありました。…時は流れ現在。「プレゼントは何がいい」とさえ、聞かれなくなりました。それでも毎年クリスマスの夜は枕元を掃除してプレゼントが置けそうなスペースを確保している私はまだまだ子供でしょうか。

さて、今年も残すところ後僅かとなりましたね。長いようであっという間であった気がします。春、先輩方が巣立ったり、帰省したえば後輩ができ、先輩っぽいことしてる！！―なんてからかわれる。滋賀での全国総文祭では何のずみか、並み居る全国新聞部員の中で交流新聞作成の班長をとなり、自分の力不足を痛感。またある時は青春日記に良さげなエピソードが思いつかなくて、気落ちして部屋の隅で丸くなっていました。泣けてくるような…まず笑えてくるような…まずは良い一年だったのでしょう。

冬休み、お正月の豪華なおせち料理を夢の中で食べてしまう事態にならないよう生活リズムに気を付けたいと思います。

（松尾）

浜の町の観光通りで 長工の技術を披露
―「技能祭」

十一月十五日（日）に浜の町の観光通りアーケードで開催された「技能祭」。工業関連はもとより調理や陶芸など、県内でものづくりに関わるさまざまな企業・団体が参加しました。長工からはロボット研究部と機械システム科三年生の生徒が参加し、多くの方々に日頃の成果を楽しく披露しました。

長工から参加したロボット研究部（ロボット班）と機械システム科三年生の生徒。ロボット研究部は自分達で製作したロボットの操作体験を、機械システム科の三年生は課題研究で取り組んでいる龍踊り列車の乗車体験を訪れた方々にして貰っていました。小さな子供からおじいちゃん、おばあちゃんまで多くの方が楽しまれていました。

▼龍踊り列車に乗車中

▼上手く操作できたかな？

▶二代目長工君
長工君ジュニア
人気者です。

そこで体験されていたお客さんや実演を行っていた長工生にインタビュー。普段はなかなか聞くことのできない地域の方々からの声も聞けました。

お客さんの声

▼まずはロボットの操作体験や龍踊り列車に乗ってみた子どもたちの感想です。

Q体験してみてどうでしたか。

―面白かった。

―楽しかった

―ボールを投げるのが難しかった。

―グルグル回るのが難しかった。

▼体験していた子どもたちの**保護者の方々**に聞きました。

Q工業にはどのようなイメージがありますか。

―男子がたくさんいる。

―機械や建築のイメージ。

―未来の長崎を担う子が集う。

―技術を極める。

―手に職を掴み取る

中には自分も長工の卒業生（電気科）と言われる保護者の方もいて「見ていると懐かしく感じました」と話されました。

▼**通りがかって**足を止め**見学されていた方**に聞いてみました。

Q見られてみての感想をお願いします。

―乗ってみたいけど恥ずかしい。ものづくりの技が伝わってきます。

―龍踊りをモチーフにしているところが、長崎らしくて良い。動くのと同時にしゃぎりが聞こえたらもっと良いと思う（この方は東京で龍踊りをしているという人でした）。

P科&ロボ研に聞く

▼P科の生徒に聞く。

Q製作する中で大変だったことは何ですか。

―レールの穴あわせです。

▼ロボ研はダンボールロボットに入っていた生徒に聞いてみました。

Qロボットの中に入って見ての感想はどうですか。

―暑くて肩が痛い

―子供と握手できて最高だった。

みなさんありがとうございました。

科学部 九州・全国大会出場決定！
科学研究発表大会

十一月七日に長崎国際大学で行われた科学研究発表大会。科学部が物理部門と化学部門の二つの部門に出場しました。会場の様子や大会の感想について科学部部長のM3谷口由樹君に話を聞くと「今までは口頭のみの出場だったけど、今回はそれに加え展示発表もあったので皆凄く緊張していた。それに他校の生徒との交流はいい経験になったし、レベルの高さにびっくりした」とのこと。

結果は谷口くんの物理部門の展示発表「回転鏡オシロスコープの制作」が最優秀賞、C3中村聡良君の化学部門の展示発表「ものづくりのための銅鏡反応に関する研究」が優秀賞を獲得。その他、口頭発表でも優秀賞を獲得する好成績。

この結果に顧問の杉本先生は「堂々と発表していた。今まで苦労したこと、努力したことをしっかりと話せていた。自分で作り出したというのが評価されたと思う」と話されていました。谷口君は最優秀賞獲得により九州大会、全国大会の出場が決定。二月に実施される九州大会に向けて「自分の装置とポスターの作りをしっかりと見直し、九州大会では上の方を目指す」と話してくれた谷口君。さらなる活躍を期待しています。

▲喜びを語る
科学部部長谷口君

ロボコン道
ロボ研超会議

もうすぐ冬休み。ということは年越しが迫ってきています。ロボ研でも年越しの準備中…。今年の問題は今年の内に。今年度を振り返り来年度の大会へ向けての会議を行いました。この会議は学年関係なしに問題点を出し合う場とし、そして今年度の問題点が沢山上がりました。

その中でも一番問題として取り上げられたのが「工具・材料の整理整頓」。これについてどうしていくか、また話し合いそして、具体策を考えました。その具体策を元に整理整頓を行い、新年を気持ち良く迎えられるようにしたいと思います。そして、整理整頓の状態を維持していきたいと思います。（草場）

▶浮き出た問題点

悔しさと楽しさと
駅伝・陸上部

十一月五日、雲仙市小浜で行われた高校駅伝。男子が十九位、女子が二七位で終わりました。高校最後の駅伝となった三年生にインタビュー。

取材内容
①駅伝に出場しての感想
②後輩に一言

◆C3浜辺彩七さん

①二回目の出場でしたが思うような走りが出来ず悔しかったが、今のメンバーで走れて楽しかった。

②きついこともたくさんあるけど笑顔で乗り切ろう！

◆P3今道太智君

①一桁の順位が目標だったが、プレッシャーで思うように出来ず悔しかった。

②上を目指して頑張って下さい。

▶浜辺さん

▼今道君

もっいくつ寝ると…
お正月を飾る絵に 12徳久さんの絵

もう十二月。あっという間の一年でした。あと少しで平成二八年度「申年」になります。

さて皆さんはお正月に門松やしめ縄など、新年を祝うようなものを玄関先に飾りますか。長崎では毎年門松の代わりに、その年の干支をモチーフに描かれた絵が配られますが、その絵を見たことがある人、知っている人は沢山いると思います。この絵ですが、来年度は徳久柊子さん（I2）の絵に決定しました。また表彰式が十月二十六日、校長室で行われました。

徳久さんは「自分が選ばれるとは思わなかったので、出して良かった。嬉しい」と笑顔で話してくれました。この門松は毎年、各家庭に配られます。皆さん、この絵をみて、良い年を迎えましょう。

▶笑顔と喜びの受賞

◀来年の干支は「申」！

一年生な☆日々

皆さん、こんにちは。あと僅かで冬休みですね。もう長工に入学してから半年以上が経過していということに驚きが隠せません。十二月を師走と言いますが、今年すべての月が師走だったと言っても過言ではないと思います。テストに受験、体育祭、工業展などほとんどの一、二ヶ月なのに、ものすごく遠い出来事のように感じます。

さて、誰しもうっかりミスという経験はあると思います。今学期最後だからと気合を入れて勉強した二学期の期末試験。なのにテスト範囲を間違えていたり、完璧にできると思っていた専門の電気の基礎では電卓を忘れて簡単な計算問題しか解けなかったりと、普段からの注意力の無さが祟りました。しかし、世の中にはうっかりミスでは済まされないことも多々あります。今回の僕の電卓の件なんかは自分の問題に迷惑がかかるミスはしてはいけません。ミスをした後に大事なことは、悔いることではなく、如何に責任を取るかと、ミスしないためにはどうしたらよいかを考え実行することです。これが今学期私が学んだ一番のことです。来年は注意深く生活していこうと思います。（岡本）

編集後記

前回の号が十二月三日発行。そして今年最後の号となる一二四号がようやく完成。この間に二年生はインターンシップがあり三週間近くあったといっても、とても短く感じました。年が明ければすぐ発行予定。良いお年を！

登校中に てふ工生！！！ パート②
～恥ずかしさ100%～

※乗り過ごさないことだけを祈っています！